

コンサルテ瀬田便り

口腔機能健診が実施

5月19日(土)入居者様のお口の衛生状態と働き具合をチェックする口腔機能健診が、NPO 法人摂食介護支援プロジェクト(国立大学法人大阪大学歯学部附属病院看護学部管理室内、代表;古郷幹彦教授)の協力で実施されました。

検査の項目は、お口の中の衛生状態、お口のうるおい度、かむ力、くちびるの力、舌の力、のみこむ機能、お口の器用さなどの項目にわたるものでした。

なれない検査にはじめは戸惑いがありましたが、検査担当者の説明に、検査の意味を理解されると次々と積極的に応対されるようになり、対象の入居者様 44 名のチェックがスムーズに終わることができました。

検査結果は、個別にお知らせし、口腔機能改善の訓練プログラムが伝えられます。また、今後数年にわたってご本人のデータを蓄積し、口腔機能の改善に取り組んでいただくうえで活用されます。

口から摂食することは、口腔に集中するさまざまな感覚神経や運動神経を刺激し、咀嚼や嚥下の複雑な神経ネットワークを活性化させる重要な生理作用であり、これら機能をチェックし維持することの意義を古郷幹彦教授は強調されています。

(2pに口腔機能維持のプログラム例を掲載)



検査会場で、初めての検査にちょっとためらいも

発行 介護付有料老人ホーム コンソルテ瀬田
編集責任者 施設長 高橋 克明

爽やかなハンドベルの演奏

5月17日(木)午後2時からさわやかホールでサークルひよこ(伴弘子代表)の皆さん8名のグループの、ハンドベルとチャイムトーンの演奏が披露されました。初夏の風を感じるような爽やかなベルの音色に、魅了されたひと時でした。



サークルひよこの皆さんの演奏

新入職員の紹介

5月採用の職員を紹介します。



2階 CW・宮垣 朝恵

編集後記

介護大手業者コムスンが介護保険事業の違法行為の摘発を受け国の処分を受けたが、これを逃れるために連結の子会社に組織を譲渡するという。和歌山県知事はこれを脱法行為として認めがたいとTVのインタビューで勇気ある断言をしていた。いま、国の行政に欠けているのは、このような果敢な精神であるのではないか。(K)

お口の衛生・機能を維持するための取り組むプログラム例

下記のうち、2～3つずつから取り組みましょう！

A.



1. 毎食後の歯磨きをする。
2. うがい（外出後）をする。
3. 手洗い（外出後）をする。
4. 夜、寝る前に食べないこと（2時間前）。
5. 義歯（入れ歯）を毎食後洗う。
6. 夜寝る前には、義歯をはずして水につけておく。
7. 1日1回、お口の中を鏡で見る。
8. 1日1回、歌を歌う。



バランスよく
食べましょう

B.



1. 1口30回かんで食べる。
2. テレビを観ながら（～ながら）の食事をやめる。
3. 小魚、こんにやくなどに気をつける。
4. 1日16品目バランスよく食べる。
5. 声を出して新聞を読む。
6. パイナップルを食べてみる。
7. 1日1回、舌の汚れを取り除く。



声を出して
読んでね

C.



1. 巻き笛
2. 風車
3. ストロー
4. スプーン(舌)



息を吐いて
舌を伸ばす

D.

1. スッキリ体操
2. おいしく食べる体操
3. 唾液腺マッサージ
4. 腹式呼吸
5. 舌運動
6. 「パ」「タ」「カ」を声に出す。